

キャラクター名  プレイヤー名   
 ストーク=ペゴレッティ

メインクラス	ナイト	Lv.1:		レベル	12
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	モンク	性別	男
称号クラス				年齢	33
種族	ヒューリン			境遇	天涯孤独
出自 (効果)	前科者			目標	探索

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	25	9	9	8	16	18	9
ボーナス	8	3	3	2	5	6	3
クラス修正	2	1	2	0	0	2	1
他修正						2	
能力値	10	4	5	2	5	10	4

HP	148
MP	86
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	るーじゅしゅペーあ	至近	-2	15	0	0	0	-3	0
左手	ビッグウォール		0	0	0	12	0	-5	0
頭部	ジルコニアヘルム				-1	8			
胴部	キュイラス				-1	12			-1
補助	ファインバックラー					4			-1
装身具	警告の碧水晶								
能力値			4	0	5	0	10	10	15
スキル	オトガ、レジェス、フェイス:ゴヴァノン、ハイ					7	25		
その他	ファイアステップ					0	0		
総計(右)			2	15					
総計(左)			4	0	3	43	35	2	13
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	4			4	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	10			10	+ 2 d
錬金術判定					+ d

現在重量:	52	所持金:		預金・借金:	
最大重量:	55	所持金:		預金・借金:	

所持品	
冒険者セット	ハイHPポーション×5
毒消し×5	ハイMPポーション×1
HPポーション×4	飛翔符
MPポーション×2	にく
HHP×5	ウェホンケース
HMP×5	紫色の石ころ
バックパック	ポメロのような何か
グミ	ナイトシールド
6番の野草	
デッキブラシ	魔力の結晶*2
船員室・浴場とプレートのついた鍵	妖魔刀の欠片*5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーブブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果:	ウィングを取得							
カバーリング	1	2	DRの直前	至近	単体	自動成功		
効果:	対象にカバー 一回のメインプロセスで一回							
オートガード	2		P					
効果:	物理防御+SL*2 魔法防御+SL							
レジストエレメンタル	3		P					
効果:	魔法防御+SL*3							
マインドアダプト	1		P					
効果:	【精神】+2							
	5	9-1	DRの直前	20m	範囲 (選択)	自動		
効果:	ダメージ軽減 (SL)D							
	1		P					
効果:	サモナーズスキルのコスト-SL							
ファミリアレンド	3		P					
効果:	ファミリアアタックのダメージ+SL*3							
カバームーブ	2	4	カバー	20m	自身	自動		
効果:	20mまでカバーできる							
クイックステップ	1	5	セットアップ		自身	なし		
効果:	ステップのセットアップ化							
ファイアステップ	3	4	メジャー	-	自身	自動		
効果:	攻撃のダメージに+SL*3 シーン持続							
ファミリア	2		アイテム		自身	-		
効果:	使い魔、感知の達成値+2							
ファミリアアタック	1	5-1	メジャー	20m	単体	感知		
効果:	3D+CLの貫通ダメージ							
パフォーマンス	1		パッシヴ					
効果:	アリアプレイ時に所持金【敏捷】*100G							
ダンシングヒーロー	1		判定の直前		自身			
効果:	判定に+1D 1シーン1回							

ヒューリンシーフの父とドゥアンツリ之母との間に生まれる。  
 幼い頃から住居を転々としており、友達といえるような人間はいなかったが、DQN両親の愉快な武勇伝を聞いて健やかに育つ。両親の話のオチは大抵「生きていればなんとかなる」であった。  
 10才を超えたある日、両親の友人を名乗る人物が両親を訪ねて来る。大人の話をするといい、部屋を追い出され、不貞寝して起きたら両親がいなくなっていた。荷物ごと。  
 呆然とするストークを迎えに来たのは、とある旅芸人の座長であった。  
 彼の言うままに一座の下働きとなったストークは淡々と二十数年間を過ごす。座長はストークを厚遇することも冷遇することもなく、只の下働きとして扱っていた。  
 グランフェルデンでの公演を数日後に控えたその日、ストークは座長から一袋の包みを渡される。包みを開けると、中には数枚の金属片と父からの手紙が入っていた。  
 手紙には金属片をケストレル・クラインと言う人物に渡して欲しい、と書かれていた。  
 ストークはこの人物を探し、金属片を渡す為冒険者となった。

